

東埼玉道路赤岩地区改良その2工事 金杉建設（株）



きんじょうごむ
一次協力会社 錦城護謨（株）主任技術者 大谷 英輝（おおたに ひでき）

「東埼玉道路赤岩地区改良その2工事」の施工者である金杉建設（株）の協力会社として、地盤改良工事を担当する錦城護謨（株）の大谷英輝さんは、同社で若手エースとして活躍が期待されている。

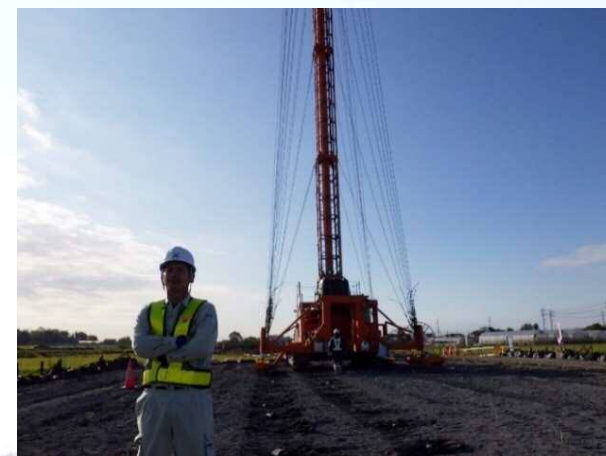
大阪府八尾市に本社工場をもつ錦城護謨（株）は、主に工業用ゴム部品のメーカーとして知名度が高く、ゴム関連事業に加え、軟弱地盤改良工事土木関連事業にも注力している会社である。

疲れも吹き飛ばす達成感

大学時代の恩師にこの会社を紹介され、初めて建設業に携わるということを知ったという大谷さん。

一番印象にある現場は作業員時代、真冬の吹雪の日に、冷たい水溜りの中に手を入れながら水平ドレーン材を敷設した時は、「手の感覚がなくなり凍えるほど過酷で、早く終わらせたい一心でした。」

管理者になってからは、自分のミスで元請けさんに迷惑をかけてしまったこともあり、「心身共に疲れ切った毎日でした。しかし、無事施工が完了し、元請さんより『施工してくれて助かった、ありがとう』という言葉を受けると、今までの疲れも吹き飛び、達成感と高揚感に溢れます。」と笑顔で語る。



チーム一丸となり、より高品質を目指して

入社して4年、この現場では地盤改良のバーチカルドレーン工ペーパードレーン打設を行い、主任技術者を任されている。

管理者の立場として、「作業員のモチベーションが下がるようなことは言わず、作業員の意見も尊重しながら、全員が納得いくような方向で高品質な施工を目指します。また、現場が円滑に回るように気を使いながら、積極的にコミュニケーションを取り、親交を深めることを心掛けています。」と部下にも気を配る。

元請けの金杉建設（株）の黒田所長は、「日々安全第一で業務を行う姿は、若いのに頼もしいかぎりである。引き続き、無事故無災害で完工できるよう、気を引き締めて頑張ってください。」とエールを送る。



屈強なラグーマンは、良きパパでもある

仕事が終わって家へ帰ると、休むまもなく洗濯・掃除をし、二人の幼い子供たちの育児で忙しい奥様を支える良きパパでもある。

休日は、子供たちと公園で虫を捕まえたり、動物園、水族館、ショッピングセンターに出かけたりと思いつき休日を楽しんでいる。

小学校から大学まではラグビーをしていたので、体力には自信がある。最近ではラグビーは観戦がメインだが、日本で開催されるラグビーワールドカップを楽しみにしていて、日本代表の活躍を大いに期待している。

また、音楽鑑賞、映画鑑賞も好き。今ハマっているのは、「Sam Smith（洋楽アーティスト）。毎日、延々と聴いています。先日、来日公演にも行きました！」

多く学び充実した時間が自信の成長に！

建設業の魅力を聞くと「建設業は大変そう、辛そうというイメージを持たれている方が多いと思います。実際大変なこともあります。それ以上にチームワーク・団結力から得られる達成感を、現場全体で体感できる事が、他の業種では味わえない魅力です。少しでも気になるのであれば、一度挑戦する価値はあると思います。」と語ってくれた。

「将来の夢は、自社の技術・工法だけでなく、他の様々な技術も取り入れ、誰もが認めるプロフェッショナルな技術者になることです。」

大谷英輝さんのプロフィール

出身地	三重県熊野市
現在のお住まい	神奈川県藤沢市
年齢	29歳
家族	妻、長男（3歳）長女（7ヶ月）
趣味	子供と遊ぶ事、洋楽を聴くこと、ラグビー観戦